





令和5年 **6**月の大阪森林便り

目次

- (1)  木材、宇宙で劣化せず 住友林業、人工衛星に応用へ
- (2)  合板卸値 3~10%安 東京地区
- (3)  花粉発生量 30年後半減 10年で人工林2割伐採
- (4)  集成材、5月1割安 資材高、住宅需要鈍る

6月の木の話 桶と樽の木取り（選別）

- (1)  **木材、宇宙で劣化せず**

住友林業、人工衛星に応用へ

- *住友林業や京都大学は、宇宙空間で木材が劣化しにくいことを確認。
 - *2022年3月から国際宇宙ステーション（ISS）の実験棟で、ホオノキなど3種類の木材を試験。
 - *宇宙放射線や温度変化のP影響を受ける宇宙空間に約10か月間さらしました。
 - *見た目の劣化はみられず、重さもほぼ変わりませんでした。
 - *木材は電磁波を通しやすく、衛星のアンテナなどの突起物を内部に収納して単純な構造にできます。
 - *木材なら衛星の運用を終えて大気圏に突入する際に燃え尽きるため、環境に悪影響を与えにくい利点も。
- （2023年5月19日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

- (2)  **合板卸値 3~10%安 東京地区**

建設向け停滞 底入れ時期 不透明

- *国産針葉樹合板は5月時点で4月に比べ8%下がりました。
- *輸入品も10%下落。
- *国内合板メーカーは2022年秋から、国内住宅需要の一服を受けて生産調整を続けます。
- *2023年5月時点の生産量は前年同月より3割減少。
- *針葉樹合板の3月末の在庫は、前年同月比76.5%多く、11カ月連続で前

年同月を上回りました。

*型枠用合板も値下がり。前月比 7%安。

*輸入品の普通合板も 3~9%下がりました。

*3月の合板輸入量は前年同月比 28.5%減。

(2023年5月19日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(3) **花粉発生量 30年後半減 10年で人工林2割伐採**

☆農林水産省と林野庁の花粉症対策

*杉の人工林を10年間で2割ほど伐採し、30年後に花粉発生量を半減。

*花粉の少ない杉の苗木や杉以外の木への植え替えも。

*樹齢50年以上の杉を中心に伐採。

*建築物に使う木材の杉材への転換も促す。

*2017年時点で樹齢50年以上の杉は全体の半数超。

*「少花粉杉」は足元で杉の苗木生産量の5割を占めますが、人工林全体で見ると少花粉杉の割合は1%未満。 *杉花粉症は国民の4割ほどが罹患しているとされます。

(2023年5月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(4) **集成材、5月1割安 資材高、住宅需要鈍る**

国産ヒノキも2%下落

*日本は住宅の柱に使う木材の5割、梁や桁などに使う木材の8割を海外材で作る集成材が占めます。

*梁に使う集成平角の価格は、5月に4月比で11%下がりました。

*集成管柱は13%下落。

*3月の木造住宅着工戸数は、前年同月比6.9%減。12カ月連続減少。

*商社は輸入を絞り、在庫も低い水準。

*1~3月の輸入量は、前年同期比の5割弱。

*集成材の原料の輸入ラミナの対日輸出価格は4四半期ぶりに上昇。

*主力の欧州産の4~6月期の対日輸出価格は、前四半期(1~3月期)から7%高。

*国産材は今後も軟調な相場が続くとの見方。

(2023年5月31日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



6月の木の話 桶と樽の木取り（選別）

*桶の場合、乾湿の繰り返しによる変形を少なくするために、乾湿による寸法変化のより少ない柁目を使用します。

*樽の場合は、液体を長時間入れておくときに漏れにくくするために、液体を入れた時により膨潤しいた同士の隙間が閉まりやすい板目板を使用します。

*酒樽に使われる杉材は、内側が心材で外側が辺材の甲付きとよばれる最適といわれます。

*においのもっとも強い部分が酒に触れて香りづけになり、見た目に美しい白い部分が樽の外側になって見栄えをよくするためです。

（木材利用システム研究会 木力検定委員会 木力検定 木を学ぶ 100 問より抜粋引用）

